

エバポレータ

～自動蒸発濃縮装置～
(減圧脱水装置)

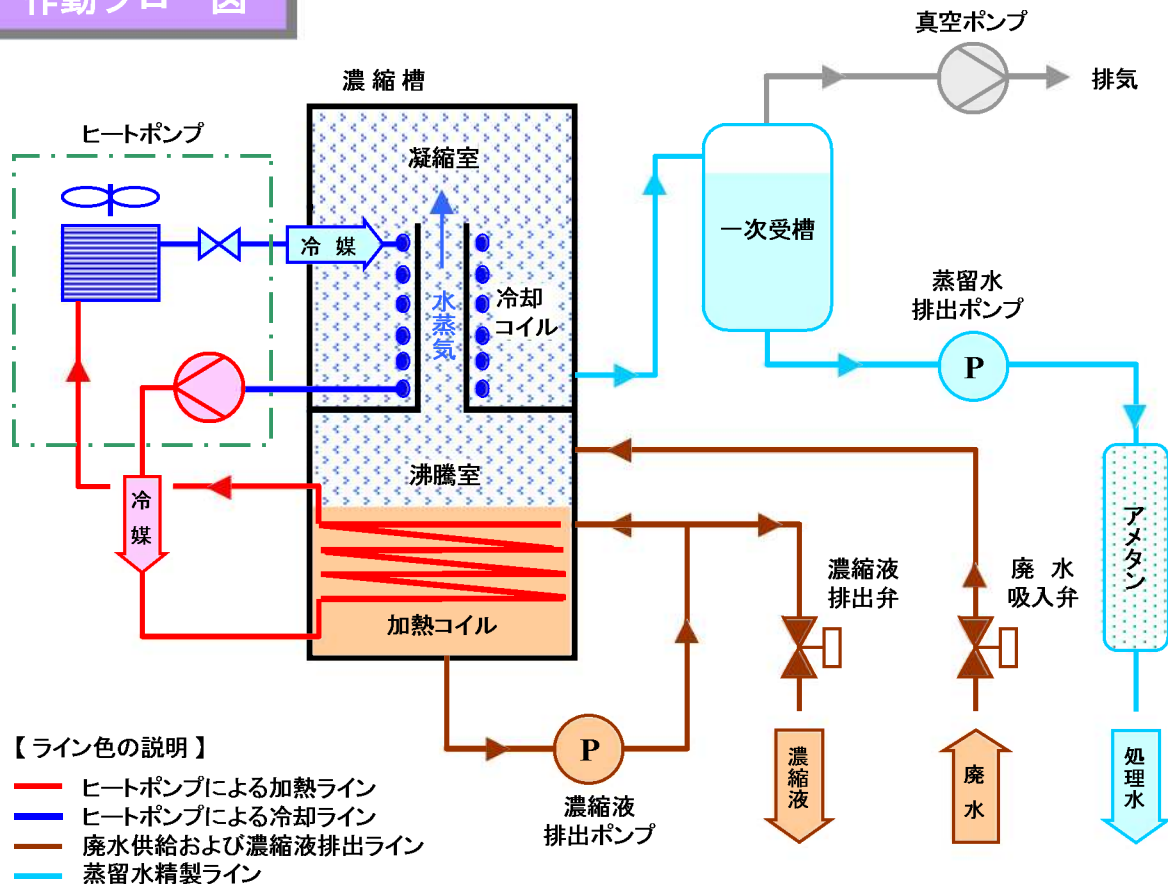


EVP350型

特長

1. 廃水を 1/10 に濃縮し、処理費用を低減します。
2. 濃縮時の熱源は不要です。
3. 精製した処理水は、再利用または河川放流が可能です。
4. 廃液から有価物を回収できます。

作動フロー図



☆ 作動説明 ☆

1. 廃水吸入弁が開くと、真空ポンプで減圧されている濃縮槽に廃水が吸入されます。
2. ヒートポンプで暖められた冷媒が沸騰室の加熱コイルに送られて、廃水を加熱します。沸騰室は減圧されているので、廃水は大気圧状態よりも低い温度で沸騰して、水分の蒸発が始まります。発生した水蒸気は凝縮室に流入します。
3. ヒートポンプで冷された冷媒が凝縮室の冷却コイルに送られて水蒸気を冷却します。すると、水蒸気は凝縮して水滴（蒸留水）になります。
4. 真空ポンプが、濃縮槽の減圧を行いながら蒸留水を一次受槽に引き込みます。
5. 一次受槽の蒸留水は、蒸留水排出ポンプによってアメタン（活性炭）に通液処理され、排水されます。
6. 水分が蒸発して濃縮された廃水は濃縮液排出弁から排出されます。

仕様

型式	処理量(L/日) 50/60Hz	消費電力 (kW)	寸法 (幅×奥行×高さ)
EVP350	350/420	5.2	1800×900×2100
EVP500	500/600	6.8	2200×1100×2000
EVP750	750/900	11.2	2200×1100×2000
EVP1000	1000/1200	12.5	2500×1200×2200
EVP1500	1500/1800	18.6	2500×1200×2200
EVP2000	2000/2400	23.6	3000×1300×2400
EVP3500	3500/4200	45.4	3000×1800×2600

型式	処理量(L/日) 50/60Hz	消費電力 (kW)	寸法 (幅×奥行×高さ)
EVP5000	5000/6000	52.9	3000×1800×2600
EVP7000	7000/8400	65.4	3600×2200×3900
EVP10000	10000/12000	104	4800×2100×3700
EVP12000	12000/14400	137	5600×2100×4000
EVP14000	14000/16800	160	5600×2100×4000
EVP18000	18000/21600	200	6300×2200×4000
EVP24000	24000/28800	265	6300×2200×4000

